

神戸市会だより

2021年
令和3年
5月
No.209

ホームページでは神戸市会の最新情報をご覧ください。

神戸市会 | 検索

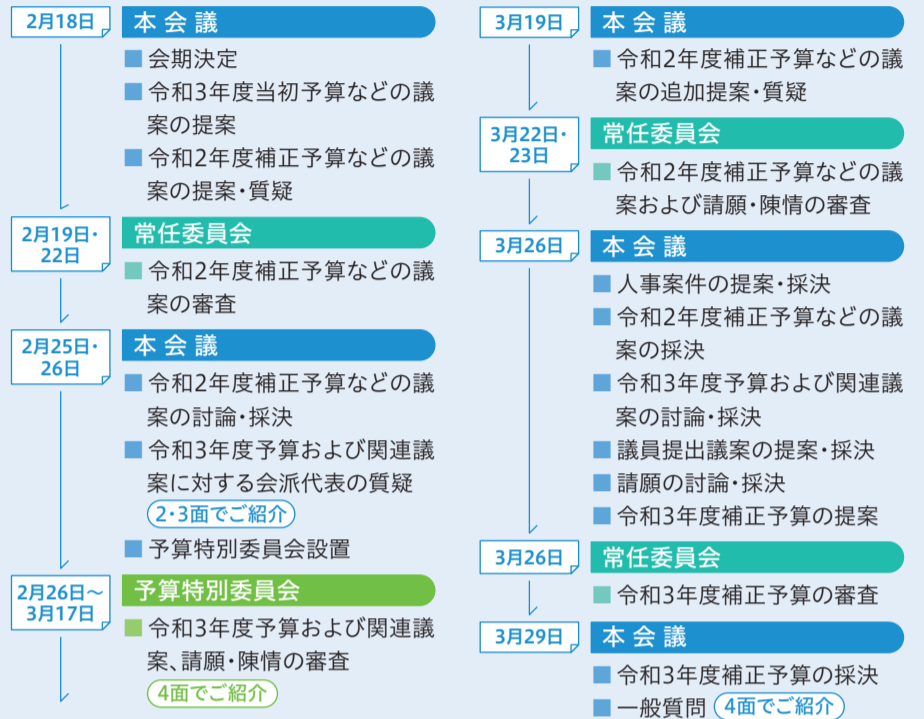
広報紙KOBEより抜き出してお読みください。

令和3年度予算を 可決しました

2月18日、令和3年第1回定例会市会を開会しました。会期は6月28日までの131日間です。2月議会(2/18~3/29)では令和3年度予算および関連議案を中心に審議しました。(市長提出81件、議員提出2件、合計83件)

2月18日の本会議において、久元市長などから令和3年度予算および関連議案について説明を受けました。2月25日・26日には各会派の代表者が質疑を行い、その後予算特別委員会を設置、局別に審査を行いました(主な内容は2~4面をご覧ください)。3月26日の本会議ですべての議案を可決しました。

令和3年 第1回定例会市会【2月議会】の動き



後半の6月議会は6月11日(金)から28日(月)までの予定です。

可決した主な議案

令和3年度当初予算

一般会計、特別会計、公営企業会計の総額1兆8,532億円で、いずれも原案どおり可決されました。令和2年度補正予算とあわせ切れ目なく一体的に、新型コロナウイルス感染症対策に最優先で取り組み、withコロナの新時代をリードする施策を積極的に展開していく予算となっています。

令和2年度補正予算

新型コロナウイルス感染症対策のほか防災・減災、国土強靱化や公共施設等の老朽化改修等を実施し、安全安心の確保を図ります。

意見書の提出

- 次の意見書を国に提出しました。
- 性犯罪に関する刑法規定の見直し等を求める意見書
 - 辺野古基地建設について沖縄県と更に対話を深めることを求める意見書

令和3年度予算に対する各会派の賛否一覧

○=賛成 ×=反対

件名	自	公	維	共	立	つ	国	友	無 平野章	無 松本し	無 上原	無 村上	結果
一般会計/国民健康保険/市営住宅/介護保険/水道	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
市場/市街地再開発/後期高齢者医療/下水道/新都市整備/港湾/自動車/高速鉄道	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
食肉センター/母子父子寡婦福祉資金貸付/駐車場/農業集落排水/公債/工業用水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

自 自由民主党 公 公明党 維 日本維新の会 共 日本共産党 立 立憲民主党 つ つなぐ 国 共創・国民民主 友 国民民主党・友愛 無 無所属 (会派届出名の略称)

未来都市創造に関する特別委員会 市民報告会の開催

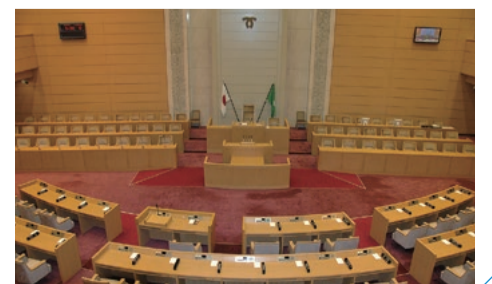
当委員会では、新型コロナウイルス感染症を契機とした都市空間のあり方などについて調査を行い、「感染症を契機としたまちづくりの方向性について」「持続可能な社会の構築について」の2つの柱からなる提言書を4月に市長に提出しました。市民報告会では、提言書の内容を市民の皆さんに報告するとともに、議員が皆さんの質問にお答えします。ぜひ、ご参加ください。

日時 令和3年6月1日(火)18時から 場所 市会本会議場(市役所1号館29階)

定員 116名(議員席68席、傍聴席48席)※先着68名が議員席となります。

申し込み 5月10日(月)から5月19日(水)までの間に、市事業・イベント案内センター(☎078-333-3372・☎0570-083330、FAX 078-333-3314)まで。(年中無休8:00~21:00※申し込みは9:00~)

※新型コロナウイルスの感染状況により、募集を取りやめる場合があります。



本会議での各会派の代表質疑から

2月25日・26日の本会議では、令和3年度予算とそれに関連する議案について、市長・副市長などの考えをたどりました。

その主な内容をご紹介します。(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。→)

議員名(会派届出名の略称、選挙区)

2月25日



2月26日



神戸市会 中継 | 検索

🗨️ コロナ支援

コロナ禍における経済対策

— 2月25日の代表質疑から —

あだち かずひこ
安達 和彦議員(自由民主党、須磨区)



- Q 緊急事態宣言に伴う経済対策として、飲食店を対象とした「感染拡大防止協力金」や中小企業者等への「一時支援金」に加え、市独自で「家賃サポート緊急一時金」を創設するなど、さまざまな支援策を講じており高く評価している。より幅広い業種・事業者への支援のためさらなる支援策を講じていただきたい。
- A 事業所税について、今年1月から3月の売り上げが30%以上減少している資本金1億円以下の事業者を対象に、特例的な措置として1ヶ月相当分を減免したい。今後、早急に検討を進め、幅広い業種の市内中小事業者の事業継続を切れ目なく支援していきたい。

コロナ禍で苦しむ事業者・生活者支援

— 2月25日の代表質疑から —

おおさわ かずし
大澤 和士議員(公明党、垂水区)



- Q 「こうべ商店街・小売市場お買物券事業」は商店街や小売市場の消費に確実に繋がるものであり、ひとり親家庭や生活困窮家庭などの生活支援策としての効果も期待できる。市民に広く広報をした上で、希望する全世帯に行き渡るよう規模を拡大し、第2弾を実施すべきではないか。
- A 兵庫県が「商店街お買物券・ポイントシール事業(第2弾)」を令和3年2月の補正予算で公表しており、本市としても、県市協調によりお買物券事業を実施する方向で、ひとり親家庭への配慮を含め、検討を進めている。実施にあたりしっかりと周知が図られるよう取り組んでいきたい。

新型コロナのワクチン接種

— 2月25日の代表質疑から —

おおさわ かずし
大澤 和士議員(公明党、垂水区)



- Q ワクチン接種において、基礎疾患の有無は自己申告のため、基礎疾患の定義をしっかりと市民に広報する必要がある。また、重篤な副反応を発症した場合、神戸市独自の健康被害救済制度を適用するなど、市民が安心して接種を受けられるよう体制を整えるべきと考えるがどうか。
- A 基礎疾患の定義については、接種券に同封するチラシや広報紙、ホームページ、SNSなどでしっかりと伝えていきたい。また、国が給付決定するまでの間、先行して被害認定をし、速やかに給付を行う本市独自の健康被害救済制度については、新型コロナワクチンにも適用する予定である。

新型コロナに関する自宅療養者支援及びワクチン接種広報

— 2月25日の代表質疑から —

みき
三木 しんじろう議員(日本維新の会、中央区)



- Q 自宅療養者に、オンライン診療の導入やかかりつけ医の紹介など、安心して療養できる体制を構築すべきではないか。また、ワクチン接種の悩みや疑問が解消できるよう専用ホームページを作成してFAQ※1の充実やチャットボット※2の活用を行い、分かりやすく市民に寄り添った広報に努めるべきではないか。
- A 自宅療養者などの健康管理や服薬への対応について、医師会と協議を行っている。また、令和3年2月にワクチン接種に関するホームページを立ち上げているが、そのFAQの充実に努めるとともに、チャットボットの導入についても準備を進めている。

中小事業者への支援策

— 2月26日の代表質疑から —

おお すずこ
大かわら 鈴子議員(日本共産党、兵庫区)



- Q これまで神戸経済を支えてきた中小事業者が限界の状況にある。神戸市では独自の家賃サポート緊急一時金などの支援を予定しているが、それでも支援の届かない事業者が多く残されている。支援の範囲を広げ、影響を受けているすべての事業者を救えるものにすべきではないか。
- A 国や県の支援策を補完し、幅広い事業者に対する直接的支援として、家賃サポート緊急一時金に加え、自己所有物件も対象となる事業所税の減免措置や感染収束期を見据えた消費喚起策も実施予定である。本市として事業者に精一杯寄り添った対応をしていきたい。

🏛️ 行 財 政

聖域なき行財政改革の推進

— 2月25日の代表質疑から —

じゅんいち
ながさわ 淳一議員(日本維新の会、長田区)



- Q 新型コロナの影響から市税収入が減少する中、中期財政収支見直しは厳しいものとなっている。子供たちにつけを回さないため、職員の人件費の削減をはじめ、関係団体への補助金や各種事業の廃止に取り組むなど、聖域なき行財政改革で生み出した財源を市民に還元すべきと考えるがどうか。
- A 事務事業の見直しによる財源確保に加え、「行財政改革方針2025」に掲げる対象職員1万2千人の6.2%である750人の削減を確実に実施するとともに、市民サービスの向上と業務の効率化を図っていく。外郭団体の見直しも含め、聖域なき行財政改革に断固たる決意で取り組んでいく。

🏠 く ら し

子ども・若者ケアラー支援

— 2月25日の代表質疑から —

あだち かずひこ
安達 和彦議員(自由民主党、須磨区)



- Q 「子ども・若者ケアラー相談・支援窓口」を設置することは評価するが、自分自身がヤングケアラーという認識のない人が多く、相談に来られることは少ないのではないかと。また、悩みを聞くだけでは問題の解決にならないと思うが、行政としてどう関わるのか。
- A 周囲の方々が子ども・若者ケアラーの発するサインに気づき、相談できるような取り組みを進めるとともに、窓口について若者へ届く効果的な周知を行いたい。また、関係者による見守りや既存の支援制度を組み合わせ、ケアにかかる負担の軽減を図っていききたい。検証を行いながら、支援を充実させていきたい。

乳がん検診

— 2月25日の代表質疑から —

とくやま としこ
徳山 敏子議員(公明党、北区)



- Q 高濃度乳腺※3は40歳以上の日本人女性の約4割が該当するといわれており、乳がん検診で実施されるマンモグラフィー検査でがんが発見されにくい可能性がある。検査を受診された高濃度乳腺の方にはその旨を本人に伝えている都市もあり、神戸市でも通知するべきではないか。
- A 市民が乳房構成について知ることは、早期に異常に気づけるメリットがある。専門医の意見も伺い、受診結果票への高濃度乳腺であることの記載や、高濃度乳腺について正しく理解いただくためのリーフレットの作成など、通知の早期実施にむけて準備を進めたい。

NHK大河ドラマ・連続テレビ小説の誘致

— 2月26日の代表質疑から —

かすゆき
よこはた 和幸議員(立憲民主党、中央区)



- Q NHKの大河ドラマや朝の連続テレビ小説は観光に大きな影響がある。湊川神社にゆかりのある楠木正成は、全国的に知名度が高く、神戸市民にも「楠公さん」として深く浸透している。ドラマの誘致に積極的に働くべきと考えるがどうか。
- A 本市を舞台にした映像作品は、神戸のプレゼンス(存在感)を高める効果に加え、市内広域のツアー造成による観光誘客や経済波及効果が高いと考えている。楠木正成ゆかりの自治体が参画する「楠公さん大河ドラマ誘致協議会」と連携しながら、引き続き大河ドラマの誘致に積極的に取り組みたい。

まちづくり

都心三宮のバスターミナル整備

— 2月25日の代表質疑から —

もりや たかし
守屋 隆司議員(自由民主党、兵庫区)



- Q I期完成時点(令和8年度ごろ)では、乗車5バースを予定しているが、II期が完成するまで、さらなるバースの増設はできないのか。また、利用者の混乱を避けるため、新バスターミナルに乗車を集約する路線の降車場所を、新バスターミナルの近くに集約させるべきではないか。
- A バスターミナルI期には、乗車5バースと待機バースの最大9バース、さらにミント神戸の既存8バースを加えた17バース程度での運用を予定している(四国・淡路方面の乗車全てをI期に集約予定)。降車については、既存バスターミナルの再編を含め可能な限りI期周辺への集約を検討したい。



バス乗降場イメージ図

withコロナを見据えた神戸のまちづくりのあり方

— 2月26日の代表質疑から —

ゆきお
かじ 幸夫議員(立憲民主党、西区)



- Q 地域コミュニティ交通について、4地域で本格運行支援が行われ、8地域で需要調査や試験運行による調査・検証が予定されている。神戸のまちづくりにおける地域公共交通の位置づけ、あり方をどう考えているのか。
- A 公共交通はまちづくりに大きな役割を果たしている。鉄道を基幹、バスをフィーダー(補完)と位置づけ、バス路線の採算が取れないところを地域コミュニティ交通で補完するというのが基本的な考え方である。人口減少が進むなか、市民や企業が乗って支える、また、鉄道沿線の活性化に参画することが重要と考えている。

王子公園再整備

— 2月26日の代表質疑から —

いさやま だいすけ
諫山 大介議員(共創・国民民主、灘区)



- Q 大学誘致や新スタジアム、芝生広場の整備を含む王子公園の再整備に向けた関連施設の調査検討を行うとのことだが、現施設を利用する団体のヒアリングを含め今後どのように検討を進めていくのか。
- A まずは交通インフラの検討に必要な基礎的調査を行い、公園全体のゾーニング、施設レイアウトの検討を進めたい。動物園のリニューアルは有識者会議で議論していく。スポーツ施設は利用団体へのヒアリングを既に始めており、令和3年度の早い段階で計画素案を取りまとめ、利用者、地域住民の意見を伺いたい。その上で令和4年度に大学公募と一部事業に着手したい。

西神戸ゴルフ場の産業用地への転活用

— 2月26日の代表質疑から —

おおい
大井 としひろ議員(国民民主党・友愛、須磨区)



- Q 新たな産業団地の調査候補地となっている西神戸ゴルフ場は、年間6万人の市民が安価にゴルフを楽しめる貴重な憩いの場である。どのような過程で調査決定がなされたのか、背景や目的について伺いたい。
- A 市内の産業用地は残り少なく、新たな産業用地の検討を進める必要がある。西神戸ゴルフ場は交通至便な立地で、敷地の大半を市が所有しており、産業用地として適している。市民の健康づくりなどの役割はよく理解しているが、安価な民間ゴルフ場が多数立地する中、今後も公的団体として運営すべきかが課題と考える。市民の納得を得ながら調査を進めていきたい。

にぎわいある街づくりと連動する移動手段

— 2月26日の代表質疑から —

ひらの しょうざん
平野 章三議員(無所属、垂水区)



- Q 昨年、中突堤周辺地区の再整備に関するサウンディング型市場調査※4が行われ、9グループから事業提案があったと聞く。以前にゴンドラやロープウェイを提案したが、令和3年度予算案の回遊性向上に向けた調査・検討費で、どのような調査を行うのか。
- A ハーバーランドから新港突堤西地区に至るウォーターフロントエリアの回遊を促す仕掛けづくりとして、民設民営を前提としたロープウェイなど多様な移動手段の検討・調査に着手する。

自転車通行空間の整備

— 2月26日の代表質疑から —

むらかみ たつま
村上 立真議員(無所属、兵庫区)



- Q 自転車レーンの駐車により安全上の問題が生じている。自転車通行空間と車道の構造的分離は財政上も難しいが、他都市では構造的分離以外の方法での解決例もある。神戸市の検討状況を伺いたい。
- A 幅員に余裕のある路線では車道と構造的に分離した自転車道を整備していく。空間的制約や費用面から全道路での実施は難しいが、レーンの車道側に駐停車スペースを確保した事例もあり、実現可能性を交通管理者などと相談し検討したい。

教育・こども

中学校給食の全員喫食に向けた取り組み

— 2月25日の代表質疑から —

うえなか まさこ
植中 雅子議員(自由民主党、北区)



- Q 全員喫食制への移行に向け、温かい給食のモデル実施結果も踏まえどのような実施方を想定し検討を進めるのか、移行時期もあわせて伺いたい。また、民間事業者の活用も大事であり、給食センターの整備など思い切った投資も検討すべきではないか。
- A おかずが温かく量の調整も可能な方式を前提に移行時期なども含め有識者会議で検討し、令和3年秋ごろまでに基本方針を策定したい。調理体制の確保には数年程度を要するが、民間活力の最大限の活用を基本として、民間事業者の参入意向を調査したい。給食センターは調理能力確保のための選択肢の一つと考えている。

大学生への支援・給付制度

— 2月26日の代表質疑から —

まつもと こ
松本のり子議員(日本共産党、東灘区)



- Q 大学生の半数近くが奨学金を受給しているが、コロナ禍でアルバイトなどの収入源がなくなり学費が払えず休学や除籍に追い込まれる学生もいる。1学年4名のみである神戸市大学奨学金の採用枠の拡大と、さらなる支援制度を検討すべきと思うがどうか。
- A 本市では、ふるさと納税の仕組みを利用して大学などとの協働連携に基づく学生支援や、市内の社会貢献活動に参加した学生に一定の支援金給付を実施している。神戸市大学奨学金は低所得世帯を中心に年間十数名の大学生に給付しており、国の給付型奨学金の対象拡充などを踏まえ、今後の支援のあり方を検討したい。

フリースクールへの支援

— 2月26日の代表質疑から —

たかはし
高橋 ひでのり議員(つなぐ、垂水区)



- Q フリースクールでは本人の興味に寄り添った学習支援が行われ、子どもたちが自己肯定感を持つことにより、結果的に多くの子どもが高校へ進学している。市長にフリースクールを見学いただき、その実態を見て、子どもたちに必要な支援を行うべきと考えるがどうか。
- A 本市ではフリースクールへの通所を出席認定しているほか、不登校担当コーディネーターの配置や民間団体との連絡会の開催など、連携を深める取り組みを行っている。今後も国や他都市の動向を注視しつつ、支援の在り方を検討していく。また、フリースクールの見学の機会も持つようにしたい。

日本一美味しい中学校給食の提案

— 2月26日の代表質疑から —

うえはら
上原 みなみ議員(無所属、北区)



- Q 全員喫食制への移行までの間、令和3年度から始まる「一部食缶方式※5」において一流シェフからのレシピ提供や監修により味の向上を図り、全員が食べたいと思う中学校給食に取り組んでいただきたいと考えるがどうか。
- A 食育の一環として毎年実施している「中学生のアイデアメニュー募集」において提案されたメニューをプロのシェフの目線で審査・監修いただき、一部食缶方式で提供できないか検討したい。

用語説明

- ※1 FAQ…よくある質問とその回答を集めたもの
- ※2 チャットボット…「チャット」と「ロボット」を組み合わせた造語で、テキストや音声を通じて自動で会話を行うプログラムのこと
- ※3 高濃度乳腺…乳房は主に乳腺と脂肪からなり、乳房の中の乳腺が多いタイプを「高濃度乳腺」という
- ※4 サウンディング型市場調査…神戸市と事業者との意見交換を通して公共用地の有効活用について提案や意見を求める調査
- ※5 一部食缶方式…副食のうち主菜を保温機能のある食缶を活用して温かいまま提供する方法

予算特別委員会の質疑から

神戸市会 中継 | 検索

3月15日

予算特別委員会では、令和3年度予算と関連議案について審査しました。委員会では3つの分科会を設け、3月1日から局ごとに審査した後、3月15日に総括質疑を行いました。(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。→)

議員名(会派届出名の略称、選挙区)



予算特別委員会

議員67名で構成。2月26日から3月26日まで設置
委員長 菅野吉記
副委員長 河南ただかず
朝倉えつ子
住本かずのり

感染の再拡大を見据えた対策

— 3月15日の予算特別委員会から —
ぼういけ だだし
坊池 正議員(自由民主党、西区)



- Q 今後市内の人出の増加が予想され、変異ウイルス感染も増加傾向にある。ワクチン接種により多くの市民が免疫を獲得するまで、引き続き市民に感染防止対策への理解を求め、感染再拡大の防止に取り組むべきではないか。
- A 感染防止対策について、YouTubeなどのSNSを活用し呼びかけ、感染症を早期探知する体制の強化を図る。さらに、高齢者施設などの積極的検査の対象施設拡大、検査を一巡する期間の短縮を検討しており、感染再拡大の防止に全力で取り組む。

「こうべでこうて!お買物券」の追加発行

— 3月15日の予算特別委員会から —
どうした とよじ
堂下 豊史議員(公明党、北区)



- Q 神戸市がこれまで実施した経済施策の中でも「こうべでこうて!お買物券※1」は大きな経済効果があったと評価されており、第二弾を検討すべきと考え。県市協調による実施に向け検討を進めると伺っているが、現在の状況はどうか。
- A 前回より1万冊多い22万冊のお買物券を7月から販売する予定で検討している。特に状況の厳しいひとり親家庭に優先枠を確保するとともに各種媒体を通じて情報発信し、より効果的な取り組みとなるよう工夫したい。

外郭団体改革の具体的な進め方

— 3月15日の予算特別委員会から —
そとみ かいぞう
外海 開三議員(日本維新の会、東灘区)



- Q 市長が明確な改革方針を内外に示した上で、市民や各団体の経営陣、株主などの理解も得ながら厳しい改革をスピード感を持って進めていくべきと考える。令和3年度の具体的な進め方について見解を伺いたい。
- A 令和3年度はコンプライアンスの徹底、ガバナンス体制の強化、役員の監視監督機能の強化、団体の経営能力の向上に向けた総合的な取り組みを行う。具体策を明示した上で横串を刺した外郭団体改革に強力に取り組んでいきたい。

PCR検査の体制拡充

— 3月15日の予算特別委員会から —
もりもと しん
森本 真議員(日本共産党、長田区)



- Q 新型コロナ対策では、無症状陽性者をいかに検査・保護するかが問われている。クラスターが起きやすい高齢者施設だけではなく、医療機関などでもPCR検査を定期的に行うべきであり、検査体制の更なる拡充が必要ではないか。
- A 民間検査機関によるプール検査※2を活用することで、現在、高齢者入所施設などで実施している積極的検査の対象拡大を図るとともに、検査頻度を高めることで感染拡大防止の取り組みを一層進めていきたい。

GIGAスクール構想に伴う健康課題

— 3月15日の予算特別委員会から —
いとう
伊藤 めぐみ議員(立憲民主党、北区)



- Q GIGAスクール構想※3の推進では、長時間のパソコン利用による視力低下などが懸念される。健康面の配慮について、家庭と連携しながらどのように取り組むのか。また、国の方針を待つだけでなく市独自の取り組みが考えられないか。
- A 端末の適切な使用について、教員から児童生徒に十分指導するとともに、家庭での利用時間など健康面での配慮を保護者にもお願いしたい。また、視力への影響については、国の調査結果を踏まえ、効果的な取り組みを考えたい。

介護予防・日常生活支援総合事業

— 3月15日の予算特別委員会から —
こばやし こ
小林 るみ子議員(つなぐ、灘区)



- Q 厚労省の省令改正で、総合事業の訪問介護を利用する要支援者が要介護認定後も継続利用できることになった。これを機に介護保険サービスを受けられなくなる要介護者が増え、介護保険制度の崩壊につながることを懸念する。保険者として国に声を上げるべきではないか。
- A 総合事業の趣旨は、専門職はより専門的業務に従事する一方、地域の多様な人材の参画を推進することにある。省令改正による本市の介護保険制度運営への影響は少ないが状況を注視したい。

質疑した他の議員

まえじま こういち
前島 浩一議員(共創・国民民主、西区)

かわうち きよなお
川内 清尚議員(国民民主党・友愛、垂水区)

ひらの しょうざん
平野 章三議員(無所属、垂水区)

うえはら
上原 みなみ議員(無所属、北区)

むらかみ たつま
村上 立真議員(無所属、兵庫区)

用語説明

※1 こうべでこうて!お買物券…神戸市内の商店街・小売市場の登録店舗で使用可能なプレミアム付お買物券(1冊5,000円で購入し6,000円分の買い物ができる商品券)

※2 プール検査…複数の検体を同時に検査する方法

※3 GIGAスクール構想…1人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、子どもたち一人一人に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するプロジェクト

要望事項

3月26日の本会議で、菅野吉記予算特別委員会委員長から、市長に対し要望を行いました。

●新型コロナウイルス感染症対策について

PCR検査の拡充など感染拡大対策を一層推進するとともに、ワクチン接種については、市民に寄り添った広報に努めるなどスムーズな接種を推進されたい。また、感染者に対する偏見・差別等を防止する取組を一層強化するとともに、コロナ禍で影響を受けている市内事業者に対して、さらなる支援策を検討されたい。

●福祉施策の推進について

こども・若者ケアラーへの支援について地域社会全体で支援できる体制を目指すとともに、くらし支援窓口の体制強化により生活困窮者への支援の充実を図られたい。

●子育て支援の充実について

切れ目ない子育て支援として、産前・産後・子育てのコミュニティー情報共有の場を民間活用も含めて支援するとともに、児童虐待やDVを未然に防ぐ対策を講じられたい。

●教育環境の充実について

GIGAスクール構想の推進について児童生徒の健康や情報モラルに配慮するとともに、中学校給食の全員喫食に向けてスピード感をもって取り組まれたい。また、学級崩壊問題について真摯に向き合い日常的な検証と改善を継続的に行われたい。

●新たな都市活力の創造について

水素スマートシティ神戸構想を推進するため燃料電池自動車や水素ステーションの増設に取り組むとともに、六甲アイランドの活性化、王子公園やさんちかの再整備に積極的に取り組まれたい。

●市政改革について

行財政改革方針2025について、市民サービス等を十分に検証した上で着実に推進するとともに、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進による人材確保・育成、民間人材の登用、BPRの実施による生産性向上を積極的に進められたい。

一般質問

議員が個人の立場や観点で質問しました。
議員名(会派届出名の略称、選挙区)

ごとう だいすけ

五島 大亮議員(自由民主党、北区)

- 1 地域デジタル通貨を活用したベーシックインカム制度の導入について
- 2 地域に根差した商店等のネットワーク構築について
- 3 起業しやすいまち・神戸について
- 4 都市型創造産業について
- 5 三宮クロススクエアについて

よしだ けんご

吉田 健吾議員(自由民主党、灘区)

- 1 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
- 2 計画等の目標設定と年度ごとの見直しについて
(1)神戸2025ビジョン
(2)六甲山ランドデザイン
- 3 青少年科学館のリニューアルについて
- 4 安定的な中学校給食の全員喫食制に向けて
- 5 教員の多忙化対策について

かじた

門田 まゆみ議員(公明党、須磨区)

- 1 一人暮らしの高齢者の見守りにについて
- 2 重度心身障がい者用タクシー券の利用枚数制限について
- 3 ひとり親家庭の高校生通学定期の公費負担について
- 4 国民健康保険未就学児の均等割り減額について
- 5 保育所施設周辺の安全対策について
- 6 生理の貧困について

やまもと

山本 のりかず議員(日本維新の会、北区)

- 1 子育て施策の充実について
- 2 ジェネリック医薬品の普及促進について
- 3 大規模公園での民間活力導入について
- 4 駅舎のリノベーションについて
- 5 コンプライアンスの徹底について

にし

西 ただす議員(日本共産党、東灘区)

- 1 地球温暖化防止について
- 2 学校の改修について
- 3 中学校給食について
- 4 「リノベーション・神戸」事業の見直しについて

いけだ

池田 りんたろう議員(立憲民主党、北区)

- 1 国際金融都市構想について
- 2 防犯カメラの設置・管理運営について
- 3 瀬戸内海の水質管理について
- 4 水素スマートシティ神戸構想の実現について

とみお

あわはら 富夫議員(つなぐ、中央区)

- 1 外国籍教員問題について
- 2 朝鮮学校への補助金について